



学校法人志賀学園

松の実こども園

令和7年4月4日

春の日差しに包まれ、園庭のさくらの花パンジーなど、皆さんをお祝いしているかのように咲いています。皆さんご入園ご進級おめでとうございます。これらの花々は、ガーデニングクラブのお母様方が丹精込めて育てて下さっているものです。このように、いろいろな方々の思いを頂きながら、これから子どもたちは健やかに成長して参ります。

0～2歳児の多くのお子様は、泣いて登園してきます。今までご家族との時間が長かったのですから、お母さんから離れられず泣くお子さんがいても当然ともいえます。保育者はずっと抱っこをしたりおんぶをしたりして「そうだよね！寂しいね！」「お母さんに会いたいよね…！」と泣いているお子さんの気持ちに共感しながら泣き止むまで寄り添います。個人差はありますが、安心する場所であることを身体で感じながら、園生活に慣れていきます。

3歳児は、初日から泣く子もいれば、園生活のリズムが一通り分かってから泣き出すお子さんもいます。そんな子ども一人ひとりの思いを受け止め、ブロックや乗り物、おままごとやお人形などお家で経験のある玩具で遊んだり、手をつないで園庭遊具を巡ったりします。泣いていた不安な気持ちを抱えているお子さんも、保育者と手が触れていたり、園庭に出て手をつないで歩いているうちに、滑り台やブランコなど大きな遊具に気が紛れ、気がつくとき泣き止んで遊び始めます。「いつも先生が近くにいるよ！」という保育者の思いを感じながら園生活が楽しい場となっていくと欲しいと思っています。

また、進級児の皆さんは園生活に慣れているようでも、進級によってお部屋が変わったり、先生が変わったりして、多少の不安があるお子さんもいるかと思います。そのような状況の変化に対応しながら、新しい先生や友だち、異年齢児とも信頼関係を築いていき、更に広い人間関係が作れるよう支えて参りますので、子どもたちの育ちを見守っててください。

さて、今年度の教育方針は『こどもたちのあそびを深める保育をしよう』です。子どもが、発達に必要な経験を積み重ねていくのには、保育者の適切な援助と環境の構成が大事です。私たち保育者は、子ども一人ひとりに愛情を持って関わり、その子どもの育ちをよく理解しながら年齢に応じたあそびの環境を設定します。そして、子どもたちから湧き出てきた遊びが深められるような材料の提供や十

分な時間を確保し、子どもに寄り添い、「子ども園は楽しい！早く行きたいな。」
と思って登園できますよう楽しい保育を行って参ります。
これから園児の皆さんが元気に園生活を送れますよう、園とご家庭が連携をと
りながら進めて参りたいと思いますので、宜しくお願い申し上げます。

👤 早寝・早起き・朝ごはんを心掛けましょう 👤

元気の源は「朝ごはん」です。一日元気に過ごすためには、朝ごはんをしっかり
食べさせて送り出してください。夜寝ている間に体温は下がりますが朝ごは
んを食べることで上がっていき、体を動かす準備や脳が働くためのエネルギー
に変わります。朝ごはんを抜くと、低体温や集中力の低下などの原因にもなり、
お友だちと楽しく遊べなかったり、つまずいて転びやすく怪我をしてしまつた
りします。朝ごはんをしっかり食べて、一日元気に過ごせるようにしましょう。
朝、菓子パンは、お子さんもよく食べますので手軽な食事のようですが、それだ
けではおやつと同じだそうです。幼児期は身体を作る大切な時期ですので、ご飯
(パン)・みそ汁(スープ)・魚又は肉・野菜・卵などを少しずつ少しずつ食べて
いけるといいですね。(食が細いお子さんもおりますので決して無理のないよう
に…徐々に食べられるようになってきます。)それには、早く寝て、早く起きて、
朝ゆとりを持つことも大切になってきますね。保護者の皆様は、お子さんが健康
で元気よく通えますよう、健康管理をよろしくお願い致します。

